

# 週報

2025年度 教会標語

「主につながり、根を張り、枝をひろげて」

## <先週の説教から>

『ペンテコステ・花の日合同礼拝— 動き出した教会』

武田真治牧師

### 使徒言行録 2章 1～11節

今日の礼拝は《ペンテコステ礼拝》と言います。変な言葉だね。この言葉はギリシア語なのですが、その意味は、ペンテ(=5)とコンタ(=10倍)で「50」の数を表します。イエス様がお墓から蘇られ、復活された日から、ちょうど50日目ということです。お家に帰ったら一度、数えてみてください。今年でいえば、イエス様が復活されたイースターの日が4月20日の日曜日でしたから、その日を1として、次の月曜日から2、3、4・・・と数えていくとちょうど今日が50日目に当たります。この日にどんなことが起こったかを報告してくれている箇所が今日の聖書の箇所ですね。(実際の礼拝ではこの後、子どもたちに前に出て来てもらって、その時の様子を再現してもらいました。)

聖書には「炎のような舌が分かれ分かれに現れ、一人一人の上にとどまった。すると、一同は聖霊に満たされ、「霊」が語らせるままに、ほかの国々の言葉で話しました。」とあります。聖霊が下ると「話します」ということですね。ここで聖霊は「舌のようだった」とありますが、このギリシア語は(グローッサ)という言葉でまさに私たちの「舌」のことなのですが、この言葉はもう一方で「言葉」とも訳されます。今日の箇所の11節で「私たちの言葉で」の「言葉」が実は同じ(グローッサ)なのです。面白いですね。

この「話した言葉」は、聖書の話や説教を語り出したことだけに限定することはありません。イエス様についてのこれまでの思い出話もあれば、自分がどのようにしてイエス様と出会ったのかとか、信仰を与えられてからどんな風になったか等、いろいろなことを「話した」ということでしょうし、お祈りも讃美歌も自分から発する「言葉」だね!

また、聖霊は「炎のよう」だとも言っています。聖霊が下った人に「火をつけた」ということではないかなと思います。ひとり一人の中に入って、内側からその人を動かしたという

ことでしょう。だから、内側から突き動かされるように、みんな語り出し、讃美し始めたのではないのでしょうか。

この出来事で一番、大事なことは、この聖霊が下ったことによって、みんなが(自発的に)“礼拝を始めた”ということだったのだと思います。みんなで神様のことやイエス様のことを思いながら、讃美したり、お祈りを献げたりすることを。それは、今ここでの礼拝と同じですね。そうすると、今ここにいる私たちの上にも聖霊が下がっているということなのじゃないかなと思います。わたしたちも、語りたときや歌い出したいときって誰にもあるのではないかな?

こうして「教会」が動き出したのでした。みんなが「語り出した・讃美し出した」のでした。この時から、教会は動き出しました。その意味で教会の最初の一步を歩み出した時だったのですね。教会がスタートした日、それがこの《ペンテコステ》の日だったのですね!

\*\*\*\*\*

#### 【今週の集会】

\*聖書研究・祈禱会 I. 6月18日(水) 20:00  
II. 6月19日(木) 10:30

聖書研究: ローマの信徒への手紙

祈禱主題: 教団の創立記念日を覚えて

担当者: (水) 岩井 (木) 田嶋

祈りに覚える人: 羽倉さん 橋本さん

\*ハンナの会 6月17日(火) 10:30~

#### 【教勢報告】

主日礼拝 男32 女103 計135

祈禱会 I. II. 休会

日曜学校 幼稚科13 小中科17 計30

\*\*\*\*\*

#### 【次週主日礼拝】 6月22日(日)

聖書: イザヤ書 31:1~3

ルカによる福音書 6:20~26

説教: 「ルカ④— 幸せと不幸せの違いがある」  
武田真治牧師

讃美歌: 16(1)、32、182、414、280、92(1)

#### 【次週当番表】

司式: 相浦長老 奏楽: 村上 礼拝: 金刺長老

献金: 坂田 佐々木 受付: 金刺 坂田

会堂準備: 大野 勝村 黒澤 鶴巻

西尾

看板: 中村 週報: 飯島 お花: 飯島

#### 【次週集会予定】

礼拝前: ・聖書輪読会 ・求道者会

礼拝後: ・お茶の会 ・牧師と語る会 ・聖歌隊練習

・牧会/伝道/礼拝/社会教育 各委員会

2025年 6月 15日

日本キリスト教団 上尾合同教会

牧師 武田真治

〒362-0041 上尾市富士見2-3-33

TEL&amp;FAX 048-771-6549